

東海国立大学機構
岐阜大学大学院
教育学研究科



GRADUATE SCHOOL OF EDUCATION

GIFU UNIVERSITY

2026



Graduate School of Education
Gifu University

研究科長 あいさつ



研究科長 山田 雅博

高度な教育専門職及び専門職業人へ

岐阜大学大学院教育学研究科は、社会の多様な要請に応え、地域の教育を中心となって担い、文化の発展に寄与していく高度な教育専門職及び専門職業人を社会に輩出することを目的としています。

教育学研究科は、社会のニーズに応えるため改組を行い、令和4年度から教科領域を組み込んだ教職大学院を発足させました。教育学研究科は、教職実践開発専攻(教職大学院)と教育臨床心理学専攻の二専攻からなっています。教職実践開発専攻には、三つのコースが設置されています。一つ目の教科指導能力開発コースでは、教科等の指導内容に関する高度な知識を実践で活かすとともに、新人教員や中間リーダーとして指導内容等を学び続けることが出来る教員の養成を行います。二つ目の教育実践開発コースでは、学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を実践で活かしたり、学習者の健康、障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から踏まえた実践的な指導・援助に関する高度な知識を身につけるとともに、自主的・継続的に学び続けることができる新人教員や中間リーダー教員の養成を行います。三つ目の学校管理職養成コースでは、学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりすることができる学校管理や組織的な運営を行う教員の養成を行います。教育臨床心理学専攻では、複雑化する学校現場の問題に対して、自らが発見した問題点を客観的に評価し、その評価をもとに被援助者や組織に対して専門的知識と技能を用いて適切に支援できる心理専門職の養成を行います。

本研究科の修了生が、地域の教員養成機能の中心的役割を担うとともに、岐阜県さらには東海地域における教育・人材育成、研究、社会連携・社会貢献活動等を通じて我が国の教育の発展・向上に寄与していくことを期待しています。

3つのポリシー



教育目標

教育学研究科は、社会の多様な要請に応え、地域の教育を中心となって担い、文化の発展に寄与していく高度な教育専門職および専門職業人を養成・再教育していきます。

求める学生像

教職実践開発専攻

教職実践開発専攻では、学部等で培った基礎的な教育に関する理論と実践能力を基礎とし、学習者と関わるとともに、同僚との情報交換を通して学習者の実態を的確に把握し、一人ひとりのよさや課題を見いだすことができる高度な教育専門職を養成・再教育します。

教科指導能力開発コース

教科等の指導内容に関する高度な知識を身につけ、実践で活かしたい学部卒業生、およびそれらの知識を自らの成長の中で活かし、教育現場で活躍したい方を求めます。

教育実践開発コース

学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を身につけ、実践で活かしたい学部卒業生、およびそれらの知識を自らの成長の中で活かし、教育現場で活躍したい方を求めます。

学校管理職養成コース

学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりする能力を身につけ、教育現場で活躍したい方を求めます。

教育臨床心理学専攻

教育臨床心理学専攻では、学校教育に関わる心理臨床・教育相談・カウンセリングについての高度な実践力と応用力を備え、人が生涯にわたる様々な局面で出会う心理発達の課題の解決を支援できる能力を修得し、スクールカウンセラーとなり得る公認心理師、臨床心理士、学校心理士を目指す方を求めます。

ディプロマ ポリシー

教育学研究科は、社会の多様な要請に応え、地域の教育を中心となって担い、文化の発展に寄与していく高度な教育専門職及び専門職業人を社会に送り出すことを目標に掲げています。

教職実践開発専攻

教職実践開発専攻では、以下の能力を修得した者に対し、教職修士(専門職)の学位を授与します。

- ・学習者を適切に理解し、関わる能力
- ・学習指導の内容と方法に関する専門的能力
- ・学校マネジメント・協働力

専門的能力の要素	要素において達成すべき水準(いずれかの水準)
学習者を適切に理解し、関わる能力	・学習者と関わりとともに、同僚との情報交換を通して学習者の実態を的確に把握し、一人ひとりのよさや課題を客観的かつ共感的に見出すことができる。
学習指導の内容と方法に関する専門的能力	・教科等の指導内容【主として教科指導能力開発、学校管理職養成コース】、学習指導の構想・実践・評価改善【主として教育実践開発、学校管理職養成コース】に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすとともに、自主的・継続的に学び続けることができる。 ・【主として教育実践開発(特別支援分野)、学校管理職養成コース】学習者の健康、障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点を踏まえた実践的な指導・援助に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすとともに、自主的・継続的に学び続けることができる。
学校マネジメント・協働力	・【主として学校管理職養成コース】学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりすることができる。 ・【主として教育実践開発・教科指導能力開発コース】他の教職員や保護者等と協働し、学校や自らの課題の解決にあたることができる。

教育臨床心理学専攻

教育臨床心理学専攻では、以下の能力を修得した者に対し、修士(教育学)の学位を授与します。

- ・学校現場における課題をチームの一員として解決できる能力
＜思考力・判断力＞、＜主体性・協働＞
- ・科学的思考に基づく問題解決の能力
＜知識・技能＞、＜思考力・判断力＞
- ・要支援者に対して、心理学に基づく知識や技術を用いて適切に支援する能力
＜知識・技能＞、＜主体性・協働＞

専門的能力の要素	要素において達成すべき水準
学校現場における課題をチームの一員として解決できる能力	・教師をはじめとしたメンバーと協働して問題解決に導くことができ、また、そのために必要なコミュニケーション能力を身につける。
科学的思考に基づく問題解決の能力	・人間社会に見られる疑問や問題を抽出した上で仮説を設定し、その仮説を実証的な方法で検証することができる。
要支援者に対して、心理学に基づく知識や技術を用いて適切に支援する能力	・要支援者の抱える固有の問題を適切に査定し、心理学的方法を用いて支援することができる。また、そのような経験を一般社会や多職種の専門家へ還元できる。

カリキュラム ポリシー

教育学研究科は、高度な教育専門職および専門職業人を養成するため、以下の方針に基づきカリキュラムを構成し実施します。

教職実践開発専攻

教職実践開発専攻では、①学習者を適切に理解し、関わる能力、②学習指導の内容と方法に関する専門的能力、③学校マネジメント・協働力、を育成するために共通科目・専門科目・実習科目の各々について系統立てたカリキュラムを構成します。また、高度な知識と実践性を身につけた新人教員、自らの成長を踏まえ中間リーダーとして活躍できる教員、優れた学校マネジメント力を備え学校や地域の教育課題を解決できる教員、を養成するために異なるキャリアを持つ学生に対応したカリキュラムを構成するとともに、自らの課題の解決にあたるための学び続ける力や教師協働力を高める学習支援体制を整えます。

教育臨床心理学専攻

教育臨床心理学専攻では、学校現場における課題をチーム学校の一員として解決できる能力、科学的思考に基づく問題解決の能力ならびに、要支援者に対して、教育臨床心理学に基づく知識や技術を用いて適切に支援する能力、を育成するための必修科目・専門科目・自由科目の各々について一貫モデルをベースとし系統立てたカリキュラムを構成します。

科学的思考力を身につけ、かつ要支援者に対して適切な支援ができる、公認心理師、臨床心理士、学校心理士を養成するためのカリキュラムを構成し、さらに実践場面において自身の意見等を適切な形で他者に伝えるスキルを身につけること、ならびに常にスクールカウンセラーとしての自己研鑽が必要であるとの姿勢を育めるような支援体制を整備します。

教職実践開発専攻(教職大学院)

教育現場の多様な課題を解決する実践力と応用力をもち、教職に関する理論と実践を融合させて教育実践を自ら開発する力量を備えた高度な教育専門職の養成を目的としています。この目的を達成するために、指導内容に関する高度な知識の獲得と柔軟な授業構想・展開力の形成をめざす「教科指導能力開発コース」、高度な教育実践力の形成をめざす「教育実践開発コース」、そして、学校管理職としてのマネジメントの形成をめざす「学校管理職養成コース」の計3つのコースが編成されています。

教科指導能力開発コース

教科等の指導内容に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる新人教員、教科等の指導内容に関する高度な知識を実践で活かすとともに、中間リーダーとして指導内容等を学び続けることが出来る教員を養成するコースです。

言語社会系	国語科教育実践	国語学・国文学・漢文学・国語科教育学の諸分野からなるカリキュラムによって高度な専門的知識・技能への深い理解と修得を基盤とし、教育現場において、真に効果的な教育実践を豊かに作り上げるような創造力と実行力あふれる人材を養成します。
	社会科教育実践	教科(史学、地理学、現代社会)と教科教育(社会科教育)それぞれの分野において、深い見識と高度な知識・技能を備えた教育専門職の養成を目指しています。幅広い視野のもとで自身の専門性を自在に活用することのできる、柔軟で創造的な実践力の育成に力を入れています。
	英語科教育実践	英語教育におけるすぐれた専門家の養成機関として、英語教育学・英語文学・英語学・異文化理解の4領域にわたり、その理論と実践の探求を目指しています。また、現職教員や海外からの教員留学生などの研修機関として、英語教育のレベルの向上、国際交流の促進にも努めています。
サイエンス系	数学科教育実践	児童・生徒の発達段階における知識・技能の「定着」及び「活用」を重視して、さらに児童・生徒自らが課題を探究する力を養うための算数・数学授業の理論と実践を学びます。算数・数学の高度な授業を達成できる力量を持ち、広い視野を持った教員の育成を目指します。
	理科教育実践	理科教育学、物理学、化学、生物学、地学各分野の講義により理科教育法や各専門の理論を深めるとともに、教育実践研究や各専門の今日的テーマの学位論文研究を通して、科学的研究方法や科学理論確立の過程を体得していきます。
	技術科教育実践	技術教育に関する授業改善や専門知識の向上を目的として、電気電子・材料加工・情報・生物育成及び技術科教育の分野で高度な専門知識と技能を獲得し、教員現場で活躍できる教育専門職の養成を目指しています。
	家庭科教育実践	衣・食・住・家庭管理の各分野において、家庭生活に関する倫理、課題を明らかにし、それを家庭科教育で活用する方法について授業実践を通して探求します。また、生活問題を課題として深く探求することにより、教育現場で活躍できる人材を養成します。
芸術身体表現系	音楽科教育実践	実践力のある音楽科教員をめざすためには、楽曲への理解や技能を身につけるだけでなく、それらをどのように音楽の授業へ生かすかが求められます。そのために必要な知識や技能を実技や理論を通して深く学び、各自のテーマに基づいて研究を深めます。
	美術科教育実践	絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育の発展的な講義や実習を通して、美術教育と美術表現に関わる今日的課題を追究します。それらに関連づけて総合的に解決することができる、高度な資質と実践能力を備えた人材の育成を目指しています。
	保健体育科教育実践	体育学、運動学、学校保健、保健体育科教育の理論と方法に関して専門的研究を深め、特に教育現場の諸課題にかかわる研究を充実させ、高度な実践力を備えた教員を養成します。

教育実践開発コース

教育実践開発コースは、学習指導や特別支援教育に関する高度な教育実践力を修得し、学校の中堅、地域の中核となる中間リーダーとなりうる教員や即戦力となる新人教員を養成するコースです。次の2つの分野から構成しています。

カリキュラム開発分野	学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる教員の養成を行います。教育実践の場におけるカリキュラムに関連した、児童生徒の豊かな学びの設計、教師の活動や学校の改善等を学びます。
特別支援教育分野	特別支援学校における教育を推進していくための理論と支援方法を修得します。学習者の健康、障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点を踏まえた実践的な指導・援助に関する高度な知識を身に付けた教員の養成を行います。

学校管理職養成コース

学校管理職養成コースは、学校マネジメント力を修得し、学校管理職となりうる教員を養成するコースです。自律的及び協働的な学校運営を推進するための学校ビジョン構想や学校経営計画の作成、現在強く求められている人材育成や危機管理計画の作成等を学びます。

定員／開講・遠隔／研究分野／取得できる教員免許等

専攻	コース	系	定員	開講・遠隔		分野	教育内容	取得できる専修免許状							
				昼	夜			小	中 ^{*1}	高 ^{*2}	幼	特支	養護	栄養	
教職実践開発 (教職大学院)	教科指導 能力開発	言語社会	40	○		国語	国語科教育、国語学、国文学、漢文学	○	○	○	○			□	□
				○		社会	社会科教育、歴史学、地理学、法学、政治学、社会学、哲学	○	○	○	○			□	□
				○		英語	英語科教育、英語学、英語文学、異文化理解	○	○	○	○			□	□
		○			数学	数学科教育、代数学、幾何学、解析学	○	○	○	○			□	□	
		○			理科	理科教育、物理学、化学、生物学、地学	○	○	○	○			□	□	
		○			技術	技術科教育、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気電子工学、情報工学	○	○	○	○			□	□	
		○			家庭	家庭科教育、食物学、住居学、家庭経営学	○	○	○	○			□	□	
		○			音楽	音楽科教育、器楽、声楽、音楽学、作曲	○	○	○	○			□	□	
		○			美術	美術科教育、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史	○	○	○	○			□	□	
	○		保健体育	保健体育科教育、体育学、運動学、学校保健	○	○	○	○			□	□			
	○		—	カリキュラム開発	○	○	○	○			○	○			
	○		—	特別支援教育	□	□	□	□	○		□	□			
	○		—	学校経営、学校改善、組織開発	○	○	○	○			□	○	○		
教育実践開発	—			○	●	—									
学校管理職養成	—			○		—	学校経営、学校改善、組織開発	○	○	○	○		□	○	○

開講・遠隔について 昼・夜は開講の時間帯を示しています。
●…教育実践開発コース(カリキュラム開発分野・特別支援教育分野)では、遠隔教育を実施します。受講場所等の詳細は下の「夜間・遠隔授業について」をご覧ください。

取得できる専修免許状について ○…修了要件により取得できる免許 □…単位修得により取得できる免許(ただし、受講制限・時間割編成等により取得できないこともあります)
※1 免許の教科:国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教(ただし、受講制限・時間割編成等により取得できないこともあります)
※2 免許の教科:国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉(ただし、受講制限・時間割編成等により取得できないこともあります)

夜間・遠隔授業について —働きながら学びたい先生を応援します—

本専攻では、夜間・遠隔による授業の開設により、地域の教育を担う指導的な人材が在職のまま大学院で研修・研究できるような学習機会を広く提供しています。さらに、多くの人々に大学院の授業を受講可能とするために科目等履修生を受け入れています。大学院に入学した場合には、受講科目の単位は認定されます。

教職実践開発専攻教育実践開発コース(カリキュラム開発分野・特別支援教育分野)では、岐阜大学教室と、インターネット接続された機器を備えた自宅等とをオンライン会議システムでつなぎ、双方向通信の授業を行っています。

【オンライン講義】

インターネットに接続されたパソコン等で、自宅や職場等どこからでも受講できます。また、開講される一部の科目には、夏季休業等を利用して大学キャンパスに通い受講する科目もありますので、教員と直接対面しての授業をうけることができます。

① 大学以外の場所からでも授業を受けられます。

インターネットに接続できる環境があればどこでも教室に早変わりします。夜間開講の一部科目において、遠隔授業を実施しています。詳細は募集要項でご確認ください。

② 勤務時間外の夜間が基本です。

オンライン型大学院の講義は、勤務時間外の週1日の2コマの他、土日や夏季休業等を利用した集中講義の受講となります。

③ ブレンドラーニングで専門性を高めます。

大学教員とリアルタイムでやりとりができる同期型講義、自分のペースで学べる非同期型講義、夏季休業中はOn Campusの対面型集中講義で単位を修得します。

④ 開発実践報告が学びの成果です。

少人数体制のセミナーできめ細かい研究指導を行います。研究指導もリアルタイムの同期型のe-Learningです。日々の教育活動で蓄積された疑問を大学教員と二人三脚で研究し、開発実践報告をまとめます。

※大学院修了には、講義の他、勤務校や指定校等で行う実習科目、開発実践報告に関する科目の履修が必要です。詳細は学務係に確認してください。

教育臨床心理学専攻

不登校、いじめ問題をはじめとした複雑化する学校現場の問題に対して、自らが発見した問題点を客観的に評価できる心理専門職であり、その評価をもとに被援助者や組織に対して専門的知識と技能を用いて適切に支援できる人物を養成すること、さらに、教員をはじめとした多職種に助言することのできるコミュニケーション力を持った専門家を養成することを目的としています。

教育臨床心理学専攻の特長

徹底した少人数指導

専任教員は6名、入学定員は5名です。二重関係を避けるため、原則として論文指導と実践指導(スーパーヴィジョン)は異なる教員が担います。実質的には教員1人あたりの論文指導と実践指導学生数は各1名程度で、きめ細やかな指導を行うことが可能です。

選択可能なカリキュラム

本専攻では40単位以上を修得し、修士論文(科学性のある心理学研究)を執筆することに加え、公認心理師・臨床心理士・学校心理士のうちいずれか1つの受験資格を取得することを修了要件としています。公認心理師は多職種連携を強調し、医療・教育・福祉・司法・産業の各分野に渡って学修することが求められますが、臨床心理士資格ならびに学校心理士資格は、職域をある程度限定しその学修をより深化させるという特徴を有しています。学生には2資格以上の受験資格を得ることを推奨し、複数の資格を自由に組み合わせて取得することで、広がりと深みを持った高度職業人の育成を目指します。

充実の演習・実習先

下記のような複数領域の実習機関があります。特に附属学校を持つ教育研究科である特色を生かし、実際に附属学校にて児童生徒・教員を対象に心理支援を学ぶ附属学校実践演習(必修科目)にて、即戦力のスクールカウンセラーとなれる経験を積むことができます。

実習機関一覧 (変更となる可能性があります)

領域	実習施設名	実習内容
医療・保健領域	岐阜大学医学部附属病院	・知識・技能の修得(精神神経科外来初診陪席)
医療・保健領域	公益社団法人岐阜病院	・医療職の責務(職業倫理・法的義務を含む) ・心理検査実習: 要支援者の理解と支援計画作成・検討会
福祉領域	岐阜県中央子ども相談センター*	・福祉職の責務(職業倫理・法的義務を含む) ・施設見学/ケース担当
福祉領域	児童心理治療施設 桜学館*	・福祉職の責務(職業倫理・法的義務を含む) ・施設見学/ケース担当
教育領域	岐阜県総合教育センター*	・教育職の責務(職業倫理・法的義務を含む) ・施設見学/ケース担当 ・心の健康教育
教育領域	教育学研究科附属心理教育相談室	・ケース担当/スーパーヴィジョン ・カンファレンス
産業・労働領域	清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ	・産業・労働職の責務(職業倫理・法的義務を含む) ・施設見学/地域連携

*3つのうち1つの施設を選択する。

定員／開講・遠隔／研究分野／取得できる教員免許等

専攻	定員	開講・遠隔		分野	取得できる資格
		昼	夜		
教育臨床心理学専攻	5	○		臨床心理学、教育心理学、発達心理学、認知心理学	公認心理師受験資格 臨床心理士受験資格 学校心理士受験資格

※教育臨床心理学専攻では、専修免許を取得することができません。

公認心理師

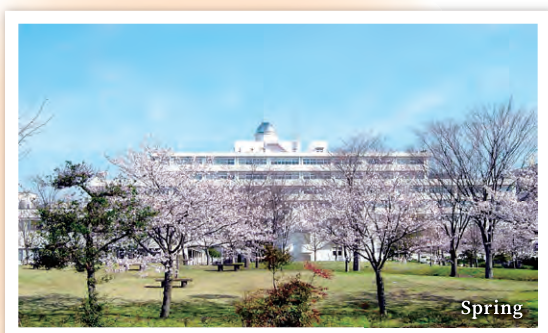
公認心理師法施行規則(文部科学省・厚生労働省令第3号)に基づいて、「心理に関する支援を要する者の心理状態の観察・分析」・「心理に関する支援を要する者との心理相談による助言・指導」・「心理に関する支援を要する者の関係者との心理相談による助言・指導」・「メンタルヘルスの知識普及のための教育・情報提供」(第2条)を行う、公認心理師法を根拠とする国家資格であり、スクールカウンセラーの資格要件の筆頭に挙げられている。

臨床心理士

財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する民間資格であり、本専攻はその第一種指定校として認可を受けている。臨床心理士資格は学士課程段階での専攻を問わず、修士課程段階に特化して養成する資格であり、学内実習における、来談者との深い関係構築をベースに支援を行うスキルの修得を重視しており、スクールカウンセラーの資格要件のひとつとして認められている。

学校心理士

学校心理士認定運営機構が認定する民間資格であり、本専攻はその教育機関として認可されている。学校心理士資格は、修士課程修了をその要件とし学校心理学を基盤とした専門資格であり、スクールカウンセラーに準ずる者として扱われ得るものである。



入学説明会

岐阜大学大学院教育学研究科では毎年8月に入学説明会を開催しています。
詳細なスケジュールは7月に「教育学部・教育学研究科ホームページ」へ掲載予定です。

入試情報

インターネットを利用した出願になります。学生募集要項は教育学部・教育学研究科ホームページに電子ファイルで掲載し、冊子による配布は行いません。本学への出願はインターネットの専用サイトから各自登録していただきます。ただし、一部の出願書類は郵便により提出していただく必要があるため、必要な様式は教育学部・教育学研究科ホームページに電子ファイルで掲載しますので、各自でダウンロードしたうえで作成し郵送していただきます。

教育学部・教育学研究科ホームページ

最新の情報はWebサイトで公開しています。

<https://www.ed.gifu-u.ac.jp/>

